

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した
新型コロナウイルス感染症に対する外来医療体制等の整備について

平素は、本会事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省の標記事務連絡に関し、このたび別添の通り日本医師会より発出されましたのでお知らせいたします。概要は下記の通りであります。

貴会におかれましてはご了知の上、会員医療機関へのご周知をお願い申し上げます。

記

●日本医師会通知より抜粋

先般、令和4年9月14日付日医発第1153号(健Ⅱ)「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更について」でお知らせした通り、「With コロナに向けた政策の考え方」が示され、その中で、高齢者等重症化リスクの高い者を守るとともに、通常医療を確保するため、保健医療体制の強化・重点化を進めていくことが示されました。

また、内閣官房において組織された「新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」においては、今冬の感染拡大について、新型コロナの患者が1日45万人、インフルの患者が1日30万人規模で同時に流行し、ピーク時には1日75万人の患者が生じる可能性が想定され、発熱外来診療体制の強化等が求められているところです。

これらを受けて本事務連絡では、発熱外来をはじめとする外来医療体制についてこれまで以上の強化・重点化を進めることがあるとし、各地域の実情として、発熱外来をはじめとする外来診療体制の診療能力を把握し、新たに「外来医療体制整備計画」を策定することを求めています。同計画は本年11月14日(月)までに作成し、同月中に計画に沿った体制強化を図ることとされています。

同計画の考え方や詳細につきましては、本事務連絡をご確認下さい。記1.の(1)から(5)までが外来診療体制関係、(6)が病床確保及び救急医療、(7)が高齢者施設等に対する医療支援関係の内容になります。

特に、電話診療・オンライン診療体制の強化等については、ピーク時の患者数と診療能力を比較した上で「診療能力の不足が見込まれる場合」に、各地域の実情に応じて行われるものであることを確認しております。

【参考・日本医師会通知掲載ホームページ/メンバーズルーム】

<https://www.med.or.jp/login.html>

https://www.med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009135.html